

2023 秋の大運動—大阪学童保育連絡協議会まとめ

2024 年 3 月 12 日

0. 今年の秋の大運動

子どもたちを守る力を最大に広げるには

…悩み、模索しながら、本当のこどもまんなか社会を多くの人と力をつないでめざしていこう

1. どの人も「そりゃそうや」と一致できるねがいて？ →ねがいの検討・たしかめ

◆学保協のとりくみテーマ

子どももおとなも 楽しくすごせて ゆとりも広がる 保育・学童保育・子育て支援の充実を

◆学童保育充実へのねがい

- ・保護者が安心して子どもをあずけられ、仕事等と子育ての両立した生活ができるように
- ・1～6年生まで、学童保育を必要とするすべての子どもが入所でき、
安心・安全に、子どもたちが通いたい場となり、すこやかに育ちあえる学童保育を

◆具体要求～子どもたちの安心・安全と豊かな育ちあいを守る学童保育にするために

- ・「子どもの世界」や「育つ姿」が共有され、「子どもの声が聞かれる」学童保育に : 子どもが主体
↓そのために
- ・学童保育は「適正規模（40人以下）」で、「専用室」を確保し、必要なだけ整備してほしい
- ・指導員が長く働き続け、よりよい仕事ができるよう「常勤職員の複数配置」「研修充実」してほしい
- ・トイレが和式や、男子のうしろを女子が通る状態、遠すぎるなど問題多数。安心なトイレに。
- ・どれも大切な 学童保育、放課後子ども教室、居場所事業を、一体化しないで、それぞれに充実を

2. わかりやすさ →レッツ署名、学習会

◆レッツ署名（秋の大運動・学童版チラシ）3号／学童充実のねがい・署名とは・書き方・署名項目

◆会議・学習交流会

○大阪学保協定例運営委員会

9月：秋の大運動とは、署名項目とキャラバン内容の確認、各地のとりくみ状況

10月：会長・秋の大運動—拡大会議、ミニ学習「子どもの育ちへのまなざしと安全対策」、地域交流

11月：施設整備で大切にしたいこと：報告・吹田—大規模つめこみ、タイムシェア・移動・待機児
～子どもの安心・落ち着き・見通しある生活や活動づくりに、専用室・専用施設の重要さ

12月：自治体キャラバン、中央要請行動・国会議員懇談、パレード宣伝 報告と交流

1月：一歩前進—学童保育に常勤・複数配置の補助加算、保育の配置基準4・5歳=25:1

新春学習会「指導員の常勤化の意義—子ども・保護者・保育者にとって」：長瀬美子先生

2月：新年度予算案／

3月：国会・府議会署名—議員懇談・紹介議員の広がり、署名の意義の共有

地域状況の交流…子どももいっしょの楽しいとりくみの要求、子どもの声をもっと聴けないか

○各地域 スタート集会：大阪市・堺・岸和田・熊取・守口・松原・富田林／ほか：定例会議で共有

3. とりくみをつなぐ・広がる

- ・署名の提案・配布・改修の伝承・交流
- ・印刷署名・おねがいのメモの準備、回収の仕方・目安が明確にイメージできると、とりくみやすい
- ・今年度、太子町の学童保育連絡協議会が2校区学童・町内保育園にも配布改修—新しい広がり

4. 子どもまんなか社会へ・共に進む

- ・自治体キャラバン
43市町村との懇談—学童保育の意義・可能性、指導員不足、施設不足の悩み 国制度の充実を
- ・国会議員・府議会議員懇談
これまで以上に、議員さん本人との懇談も実現広がる。直接、状況や要望を伝えられる意義
与党・公明党の石川議員（超党派学童保育議員連盟の事務局長）が紹介議員に
アポイントメントをとっての懇談のとりくみ—伝えられてうれしい

5. 意義・到達を共有する

- ・子ども・子育てのことで、困ったこと・もっと充実してほしいねがいなど
何かあれば、署名に託してみんなで声をあげていける—その文化が、多くの大人たちに共有
そのことが、子どもたちの今と未来を守る力と希望になっていることを、再度たしかめあおう
- ・わからない、疑問のかべ—思いが伝わった言葉やとりくみを共に考えあおう
- ・ふりかえりの交流—率直な声をこれからのとりくみに、ニュース・機関紙での共有：課題